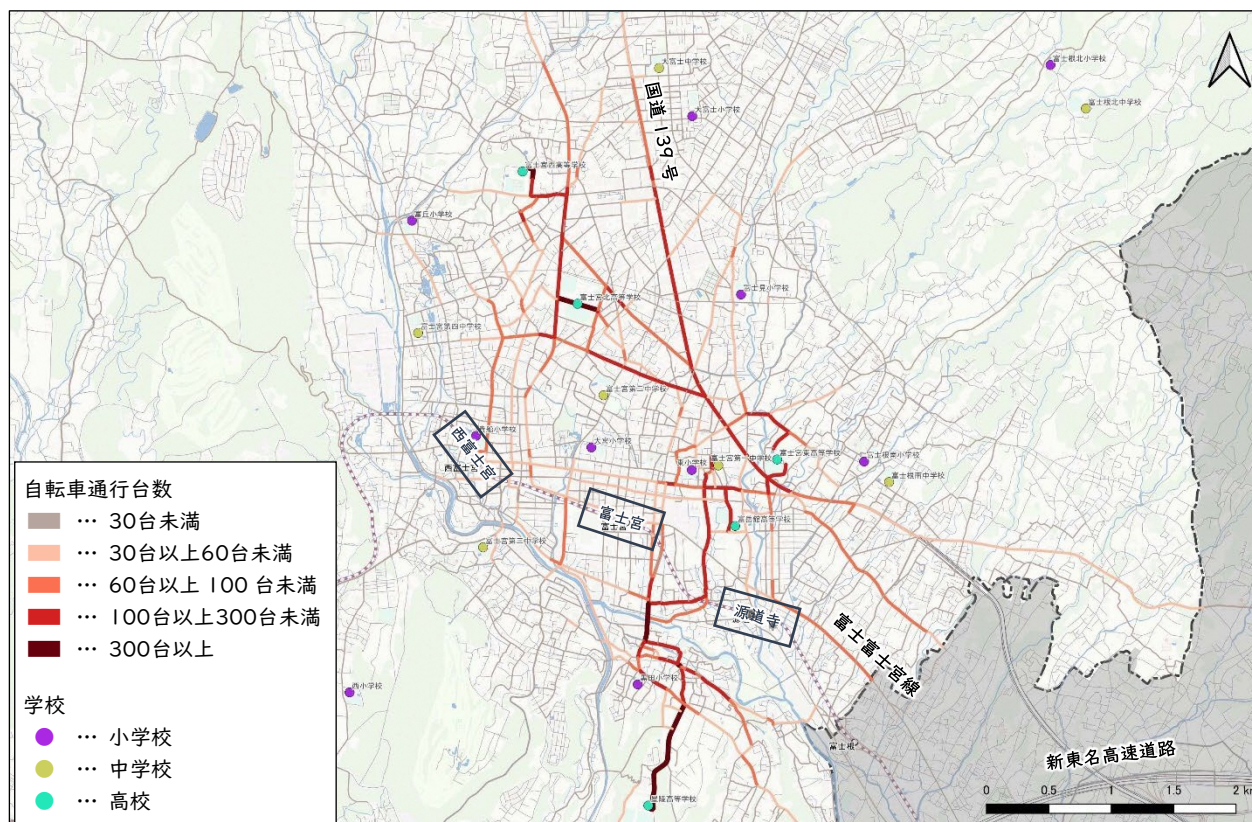


自転車通学利用に関するアンケート

- ◇ 自転車の通学利用について調査するため、富士宮市内の高校および中学校を対象にアンケート調査を実施しました。
- ◇ 国道139号や県道富士富士宮線などの幹線道路を通行する自転車が多い結果となっています。

アンケート実施概要	
目 的	①自転車での通学状況や利用実態の把握 自転車利用区間のパターン把握、自転車の走行位置 自転車を利用する経路で改善を希望する点 ②自転車の利用ルールの啓発や認知度の把握 静岡県自転車条例や道路交通法の認識度合、ヘルメットの着用状況の把握 ③自転車通学経路の把握 自転車での通学経路、通学経路上での危険箇所
対 象	市内の高校および自転車通学が許可されており主に市街地を走行する中学校 高校：富士宮北高校、富士宮西高校、富士宮東高校、星陵高校、富岳館高校 中学：第一中学校、第四中学校
調査方法	紙面による調査（令和6年7月に各学校にアンケート調査票を配布）
回 答 数	1,340 件（高校：1,040 件、中学：300件）
結 果	通学に自転車を利用している割合は、高校 62%（640 人）、中学 21%（63 人）



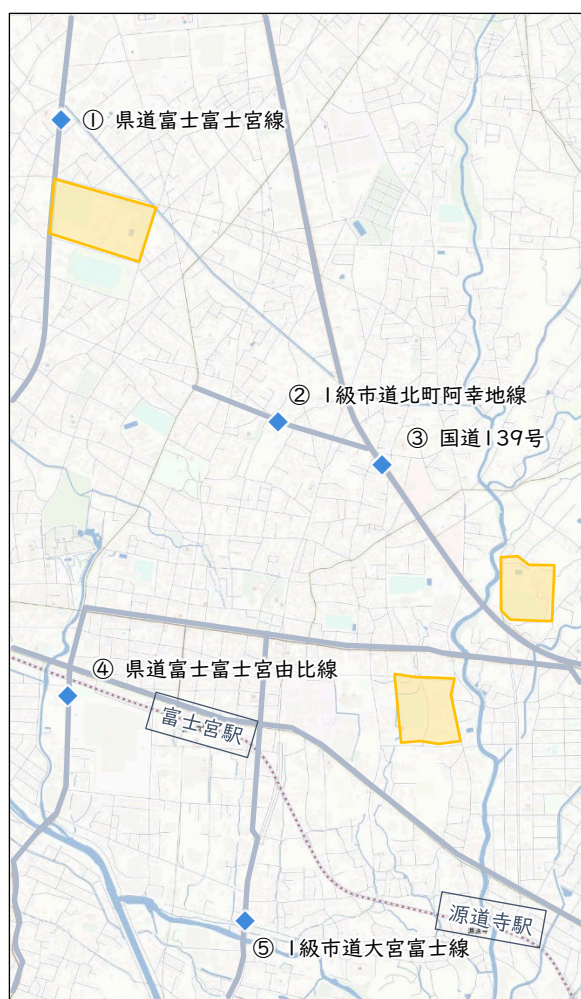
図：高校生および中学生の自転車通学経路

交通量調査

- ◇ 自転車の利用実態の把握、整備形態の検討および整備効果の検証を目的として交通量調査を実施しました。

交通量調査実施概要

目 的	①自転車の利用実態の把握 自転車の走行位置、逆走の現状を把握し、ネットワーク計画の基礎資料として利用
	②整備形態の検討 現況交通量を自転車通行空間の整備手法選定の基礎資料として利用
	③整備効果の検証 今後、自転車通行空間整備の効果検証を行う場合に基礎資料として利用
調査項目	断面交通量調査（方向別、通行区部別）
計測項目	歩行者、自転車、自動車
調査日程	令和6年10月2日（水）、10月16日（水） 7:00～19:00
調査箇所	市内5箇所（国道1箇所、県道2箇所、市道2箇所）

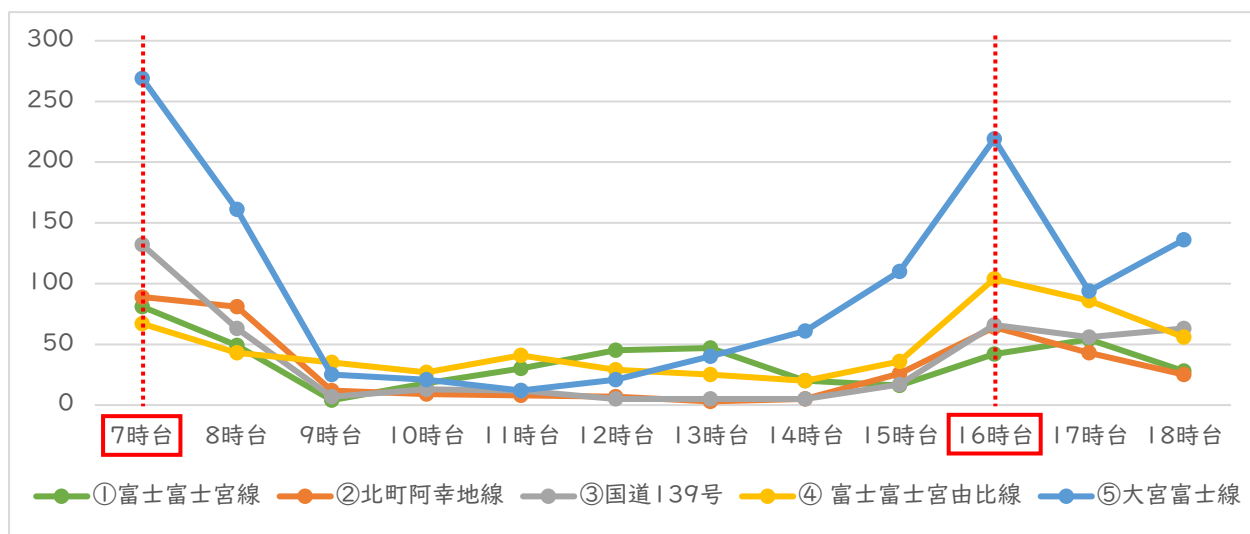


①	自転車	歩行者	自動車	
東側歩道	381	250		
東側車道	1		7,044	
西側路側帯	49	89		
西側車道	3		7,656	
合 計	434	339	14,700	
②	自転車	歩行者	自動車	
北側歩道	209	94		
北側車道	13		4,518	
南側歩道	125	152		
南側車道	25		4,763	
合 計	372	246	9,281	
③	自転車	歩行者	自動車	
東側歩道	127	87		
東側車道	9		13,795	
西側歩道	303	61		
西側車道	5		14,781	
合 計	444	148	28,576	
④	自転車	歩行者	自動車	
東側歩道	380	338		
東側車道	3		7,187	
西側歩道	89	80		
西側車道	4		6,292	
合 計	476	418	13,479	
⑤	自転車	歩行者	自動車	
東側歩道	741	136		
東側車道	16		5,314	
西側歩道	178	156		
西側車道	28		5,506	
合 計	963	292	10,820	

図：交通量調査結果

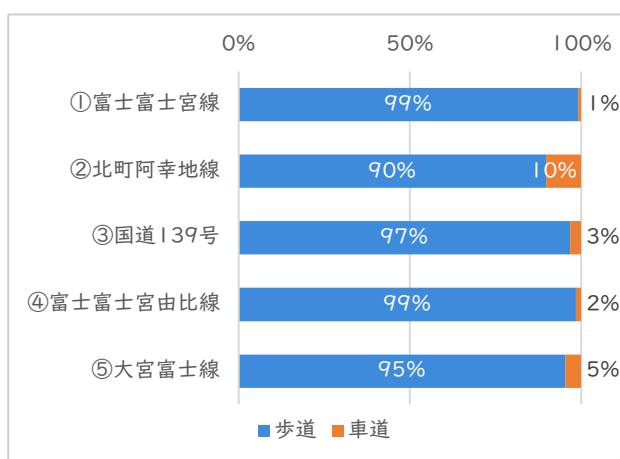
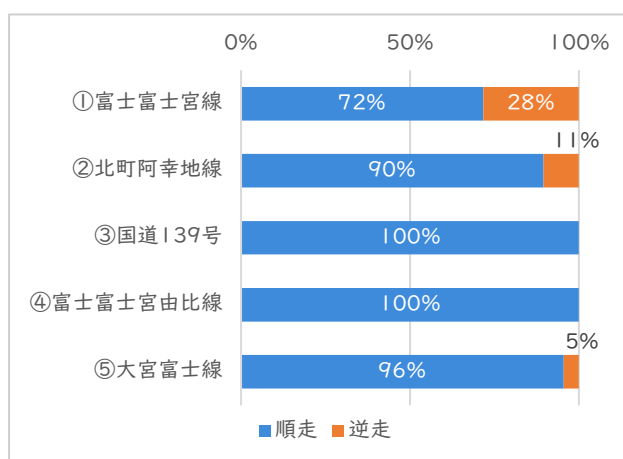
（台または人）

- ◇ 時間帯別で見ると、通学および通勤時間帯の朝7時と夕方16時の自転車交通量が多く、日中9～14時の交通量は少ない結果となっています。



図：時間帯別自転車交通量

- ◇ 自動車交通量が昼間12時間9,000台以上と交通量が多い道路でも自転車の逆走があります。
- ◇ ①富士富士宮線は、歩道が東側のみであるため、歩道のない西側での逆走が多い結果となっています。
- ◇ 全調査地点において、自転車の90%以上が歩道(自転車歩行者道を含む)を走行しており、車道を走行する自転車は少ない結果となっています。



調査箇所	自動車	自転車順走	自転車逆走
①富士富士宮線	14,700	38	15
②北町阿幸地線	9,281	34	4
③国道139号	28,576	14	0
④富士富士宮由比線	13,479	7	0
⑤大宮富士線	10,820	42	2

(台)

図：自転車の逆走台数

調査箇所	歩道	車道	合計
①富士富士宮線	430	4	434
②北町阿幸地線	334	38	372
③国道139号	430	14	444
④富士富士宮由比線	469	7	476
⑤大宮富士線	919	44	963

(台)

図：自転車の走行位置

③ 自転車に関する取組み (E-BIKE、サイクリングルート)

E-BIKE (レンタサイクル)

- ◇ 富士宮市内 17 箇所に E-BIKE をレンタルできる施設が設置されています。(令和6年12月時点)
- ◇ 富士宮市主導の E-BIKE 普及活動「Ride On!」として、新しい観光アクティビティである E-BIKE のコンセプトや貸出施設、モデルコースについて情報発信されています。

eb E-BIKE 富士宮市 レンタサイクル

レンタル設置施設リスト

施設名	電話番号	住所	レンタル時間
① 道の駅 朝霧高原	0544-52-2230	富士宮市朝霧492-14	9:30~16:30
② あさきりフードパーク	0544-29-5101	富士宮市朝霧449-11	9:30~16:30
③ 上野製菓 あさきり工房	0544-52-2115	富士宮市朝霧449-16	9:30~16:30
④ ふもとつばら	0544-52-2112	富士宮市朝霧156	9:30~16:30
⑤ Cow Resort IDEBOK	0544-52-3697	富士宮市人728	9:30~16:30
⑥ 田中道キャンプ場	0544-52-0155	富士宮市道新63-1	9:30~16:30
⑦ まかいの牧場	0544-54-0342	富士宮市内野1327	9:30~16:30
⑧ 富士ミルランド	0544-54-3690	富士宮市上井63690	9:30~16:30
⑨ SHIRAITO GENERAL STORE	0544-21-3360	富士宮市上井6266-4	9:30~16:30
⑩ Mr.FUJI SATOYAMA VACATION	070-2210-8266	富士宮市上井6266-2	9:30~16:30
⑪ 新緑子川温泉ユートリオ	0544-66-0175	富士宮市上井1219	9:30~16:30
⑫ ホールアース自然学校	0544-66-0152	富士宮市下郷165	9:30~16:30
⑬ NATURAL ACTION OUTDOOR TOURS	0544-65-1123	富士宮市人7193-6	9:30~16:30
⑭ SLEEP	050-5532-2884	富士宮市大沢15-15	9:30~16:30
⑮ かめや旅館	0544-27-0061	富士宮市大沢123-6	9:30~16:30
⑯ 富士宮グリーンホテル	0544-23-1919	富士宮市大沢23-118	9:30~16:30
⑰ フジヤマハンターズビル	0544-66-0399	富士宮市大沢12-20	9:30~16:30

レンタル料金

時間	料金
90分以内	1,000円
3時間以内	2,000円
3時間を超える	4,000円

E-BIKEで風を感じながら 富士山の麓をぐる～り



図：E-BIKE 富士宮市レンタサイクル

出典 《富士宮市観光協会 HP、Ride On!ふじのみや HP》

サイクリングルート

- ◇ 富士宮市内の観光資源を E-BIKE で周遊できる E-BIKE コースマップや、朝霧高原サイクリングマップ、モデルコースが制作されています。



図：E-BIKE コースマップ

出典 《富士宮市役所》



図：朝霧高原サイクリングマップ

出典 《静岡県富士農林事務所》

(4) フジイチ[富士山一周サイクリングルート]

- ◇ ぐるり富士山風景街道の取組みの中で、富士山を一周するサイクリングルートの静岡県側の推奨ルートを太平洋岸自転車道との接続ルートや活動拠点への引込ルートとともに関係機関と調整し、令和3年6月に設定されました。
- ◇ 富士山麓の美しい風景を地域振興に活かしていくために設定された富士山一周サイクリング推奨ルートとして位置付けられており、静岡県と山梨県の「自転車活用推進計画」における県モデルルートや国のモデルルートにもなっています。

ぐるり富士山サイクルツーリズム推進協議会

- ◇ 富士山周辺地域のサイクルツーリズムを通じた地域の魅力向上、地域振興に向け、サイクリング環境の整備と利用促進を図るための協議、情報交換等を行い、関係機関が連携した取組みを推進することを目的として、令和5年8月に「ぐるり富士山サイクルツーリズム推進協議会」が設立されました。
- ◇ 協議会ではゲートウェイの設定やロゴマーク、案内看板の選定などについて協議を進めているほか、フジイチのナショナルサイクルルート(NCR)指定に向け、検討、対応を進めています。

ナショナルサイクルルートとは

優れた観光資源を走行環境や休憩・宿泊機能、情報発信など様々な取組みを連携させたサイクルツーリズムの推進により、日本における新たな観光価値を創造し、地域の創生を図るため、ソフト・ハード両面から一定の水準を満たすルートを国が指定することで、日本を代表し、世界に誇りうるサイクリングルートとして国内外にPRを行い、サイクルツーリズムを強力に推進していくものです。



出典 《ナショナルサイクルルートHP》

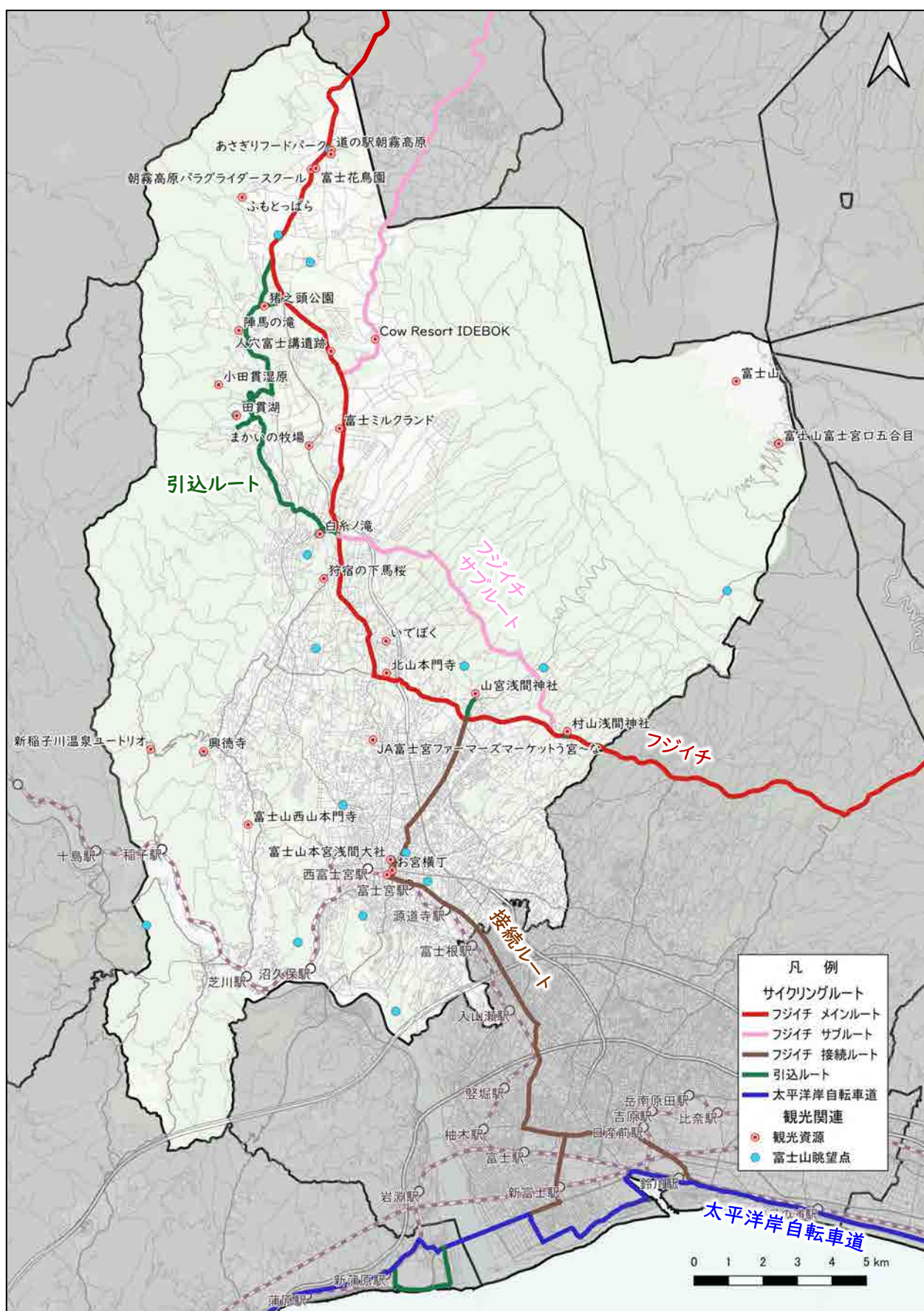


図：フジイチ ロゴマーク



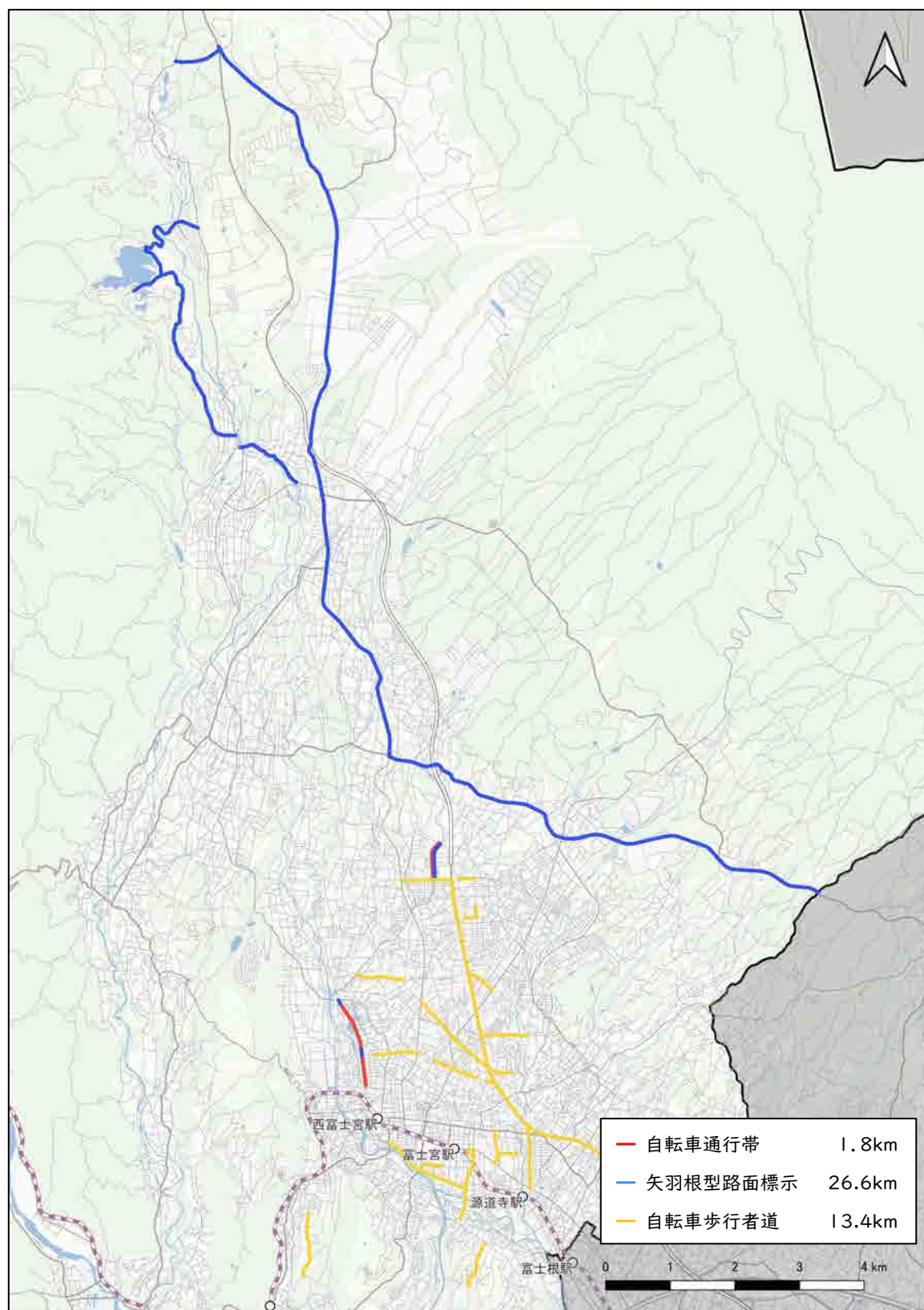
図：朝霧高原サイクリングマップ

出典 《ぐるり富士山サイクルツーリズム推進協議会》



(5) 市内における自転車走行環境

◇ 市内の自転車走行空間は自転車通行帯1.8km、矢羽根型路面表示 26.6km、自転車歩行者道13.4 km となっています。



図：自転車走行空間整備状況

2.3 自転車交通の現況と課題

自転車に関する全国的な変化や本市の概況を踏まえて、自転車の利用に関する課題を抽出します。

現況	通学に関すること	観光に関すること	日常生活に関すること
	◇ 15～19歳の自転車利用割合が多く、19歳以下の自転車事故負傷者数が多い傾向にあります。 ◇ 自動車交通量が多い道路や歩道が無い道路、幅が狭い道路など、自転車にとって通行が危険な箇所があります。 ◇ 高校が市街地(DID)に集中しており、周辺市町から富士宮市内に通学している人がいます。 ◇ 自動車交通量が多い道路でも自転車の逆走があります。	◇ 自然・歴史・文化に関する資源が豊富にあり、富士山周辺の様々な観光資源が豊富にあります。 ◇ 富士山一周サイクリングルート(フジイチ)のナショナルサイクルルート指定を目指しています。 ◇ 市内の観光資源を周遊できるサイクリングルートがあります。 ◇ E-BIKE の設置施設数の増加やE-BIKE コースマップの作成など、E-BIKE を活用した地域の新たな魅力発信事業を推進しています。	◇ 「市民ひとりスポーツ」を推進していますが、中年期ではストレッチや軽い運動をほぼ毎日行う人の割合が少ない傾向にあります。 ◇ 公共施設や生活利便施設が市街地(DID)に集中しており、市街地内での自転車利用があります。 ◇ 高齢者(65歳以上)の自転車事故の90%が市街地(DID)で発生しています。 ◇ 20歳以上の年代では、短距離の移動にも自動車を使用することが多い傾向にあります。
課題	通学における安全性の確保	富士宮の強みを活かしたサイクリング環境の向上	自転車利用の日常化による健康増進
	◇ 中高生の自転車交通分担率が高く、自転車事故負傷者数が多い傾向にあるため、安全性を向上させる必要があります。 ◇ 通学を目的とした自転車トリップ数が多いため、通学における安全性の確保が必要です。 ◇ 富士宮市と隣接市町の往来における利便性や安全性を確保する必要があります。	◇ 朝霧高原をはじめとする市内の観光資源を周遊しやすい環境を整備する必要があります。 ◇ 富士山一周サイクリングルートをはじめとするサイクリングルートを活用して、隣接市町と連携した自転車利用環境を整備する必要があります。 ◇ E-BIKE やレンタサイクルの利便性を向上させる必要があります。	◇ 運動習慣の定着のため、日常生活における自転車の利便性を向上させる必要があります。 ◇ 自転車利用および自転車事故の多い市街地における安全性を確保する必要があります。 ◇ 短距離の移動における自転車利用を推進するため、自転車の利便性を向上させる必要があります。